

インフルエンザについて



10月1日より、当院でもインフルエンザの予防接種を開始しています。

そこで、インフルエンザや、インフルエンザワクチンについてよくある質問を Q&A 形式でまとめました。

① インフルエンザは風邪と違う？

通常「風邪」とよばれる症状も、インフルエンザも『ウイルス感染』により起こるという点は同じですが、インフルエンザは風邪よりも重い全身症状(高熱、筋肉痛、倦怠感、筋肉痛)を起こす点が異なります。

インフルエンザにかかっても通常は1週間程度で治りますが、免疫力が低下している方(持病がある方や、高齢な方など)の場合は重症化して命にかかわることもあるため、注意が必要です。

② インフルエンザワクチンの効果は？

ワクチン接種により、インフルエンザの発症や重症化を予防する効果があります。

ワクチンを接種したからといって絶対にインフルエンザにならない・症状が重くならないというわけではありませんが、接種しない場合と比較して、接種した場合のほうが重症化・発症が少なくなることが報告されています。

③ インフルエンザワクチンはいつ接種すれば効果的？

ワクチンの効果発現に2週間ほどかかり、効果は3ヶ月～5ヶ月ほど持続するといわれています。流行のピークが1月～2月であることを踏まえると、12月上旬までには接種することをおすすめします。

④ 予防接種したほうがいいのはどんな人？

持病がある方や高齢の方など、免疫力が低下している方は重症化する可能性があるため、ワクチン接種による重症化予防のメリットはあると思われます。なお、当院は、高齢の方などを対象にした千葉市の接種助成の協力医療機関です。

⑤ インフルエンザワクチンの副反応は？

比較的起こりやすい副反応として、注射部位の腫れ・発赤・痛み、発熱・頭痛・だるさなどがあります。これらは通常2～3日で改善します。

また、まれに、アレルギー症状(じんましん・腫れ)や、注射部位の痛み・腫れ、頭痛などの症状がおこることがあります。ご不明な点、ご心配な点などございましたら医療機関のスタッフへお問い合わせください。